



「朝霧の川」

中路融人記念館 開館

NAKAJI YUJIN MUSEUM

平成28年4月17日(日)
近江商人博物館 リニューアルOPEN

オープン記念展

中路融人の世界
—湖国の風景に魅せられて—

会期:4月17日(日)~7月24日(日)

特別無料観覧会 4月16日(土) 午後2時~5時 プレオープン

オープンを記念して、どなたでも無料でご覧いただけます。

ギャラリートーク 日時/4月29日(祝) 午後1時30分~ 場所/中路融人記念館

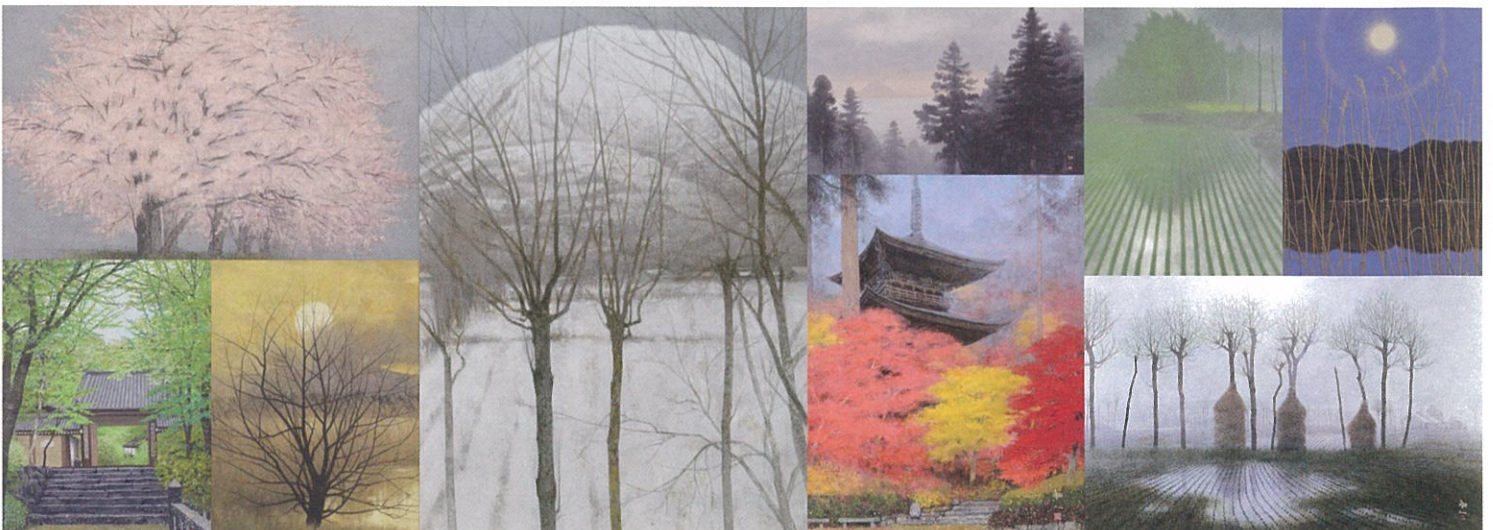
作品解説をまじえながら鑑賞します。聴講無料(ただし、入館料が必要です。)

東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五個荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)

TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134

URL <http://omishounin.boy.jp/>



※中路融人記念館では、今後の企画展で、これらの作品を順次ご覧いただけます。

中路融人記念館開館

NAKAJI YUJIN MUSEUM

中路融人記念館 オープン特別記念展

2階 中路融人の世界-湖国の風景に魅せられて-

日本画家中路融人(文化功労者・日本芸術院会員・日展顧問・東近江市名誉市民)が、自然と心を通わせ描いた湖国の風景には、その自然の崇高な精神性が表れています。

昭和8年、京都市に生まれた中路融人は、「私が幼いころより、母の故郷である湖東の五箇荘町木流(現在の東近江市五箇荘木流町)に、たびたび母と共にいった思い出があります。小鮒やモロコが釣れる曲がりくねった小川が、田圃の間を流れる、のどかな田園地帯が広がっていました。」と創作の原風景を回想しています。

晩秋から早春の空気感を好み、寒さ厳しい季節、描きたい風景に出会うために、何度も何度も湖国に足を運び、デッサンし続けた一期一会の風景。

その作品に向き合うと、画面からは凜とした空気や潤いを感じます。デッサンを大切にし、現在もなお、自らが魅せられた風景に気持ちを込めて、そのものの命、味わい、質感を表現することに真摯に挑戦し続ける、作家の姿勢が伝わってきます。

このたび中路画伯から、「私を育ててくれた故郷、湖国・東近江市の芸術文化の振興と青少年の情操教育のために」と、長年にわたり制作された日本画52点が東近江市に寄贈されることとなり、これらの作品を多くの人びとに鑑賞していただくために中路融人記念館をオープンしました。中路芸術の真髄にふれてみてください。



《略歴》

- 昭和 8年 京都市に生まれる
- 昭和 27年 京都市立日吉ヶ丘高等学校美術科(現在の京都市立銅駝美術工芸高等学校)を卒業
働きながら、日本画家の山口華楊に師事する
- 昭和 37年 第5回日展で『郷』が特選・白寿賞を受賞
- 昭和 50年 改組第7回日展で『冬田』が2度目の特選を受賞
- 平成 7年 第27回日展で『輝』が文部大臣賞を受賞
- 平成 9年 『映象』が日本芸術院賞を受賞
- 平成 24年 文化功労者に顕彰される
- 平成 27年 東近江市名誉市民となる

特別展示 リニューアルオープン特別記念展

3階 ふるさと蒲生野を愛した洋画家 野口謙蔵

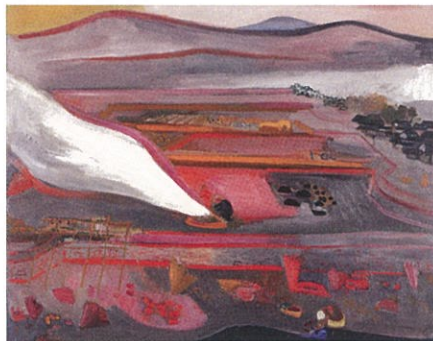
野口謙蔵は、終生故郷の蒲生野の風景や人びとの暮らしを愛した洋画家です。

明治34年、蒲生郡桜川村綺田(現在の東近江市綺田町)の江戸時代から続く近江商人の家に生まれ、東京美術学校(現在の東京芸術大学)で洋画を学びました。

当時、多くの画家は、中央画壇の東京で活動し、芸術の都パリに留学する者も多くなりましたが、謙蔵は「どうしてみんな、フランスに行きたがるのか、滋賀県にもこんなに見あきぬ美しい所がいくらでもあるのに」と語り、四季の美しい風景を見せる蒲生野の風物を描き続けました。

一時、洋画を描くことに悩む時期もありましたが、その後、帝展、東光会展などで活躍し高い評価を得ます。しかし、昭和19年に43歳の若さで亡くなります。

長寿は望めませんでした。蒲生野の風物や暮らしを題材とした秀作を数多く残しています。終生、故郷を愛した野口謙蔵が描いた東近江市の風景をこの機会にぜひご覧ください。



野口謙蔵「冬日」

近江商人博物館 リニューアルオープン

近江商人博物館は、「三方よし」の精神で地域社会に貢献した近江商人を顕彰するために平成8年4月に開館しました。以来、東近江市の誕生を経て、開館20年を迎えました。これを機に、美術展示室の改修とともに、常設展示の一部をリニューアルしました。みなさまのご来館をお待ちしています。



近江商人博物館
キャラクター
てんちゃん



東近江市 近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 滋賀県東近江市五箇荘竜田町583番地(てんびんの里文化学習センター内)
TEL 0748-48-7101 IP 050-5802-3134 URL <http://omishounin.boy.jp/>

■開館時間/午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日/月曜日・祝日の翌日・年末年始 臨時休館あり

■入館料/大人300円(250円)小中学生150円(100円)
※()内は20名以上の団体料金

■交通機関/・JRびわ湖線

能登川駅から近江鉄道バス「八日市駅行」で「金堂」

または「ぶらざ三方よし前」下車徒歩約15分

・近江鉄道

五箇荘駅から徒歩約25分

・名神高速道路

八日市ICから車で約20分、蒲生SICから車で約25分、湖東三山SICから車で約25分、

竜王ICから車で約30分、彦根ICから車で約40分